

スクールトピックス



湖畔の清掃に取り組んだ緑小の児童ら

みんなで湖をきれいに 緑小学校

緑小学校の全校児童 69 人は 6 月 17 日、猪苗代湖の湖畔清掃を行いました。同校では毎年湖畔清掃に取り組んでいて、昨年からは国立磐梯青少年交流の家と協力して実施しています。児童と青少年交流の家の職員らは 3 班に分かれ、それぞれ天神浜、志田浜、上戸浜の 3 浜でゴミを拾い集めました。参加者たちは、猪苗代湖の水質日本一復活を願いながら、空き缶やペットボトル、湖岸に打ち上げられた木の枝などを熱心に拾いました。

農青連と野菜の苗植え さくらこども園

さくらこども園の園児は 6 月 8 日、同園の畑で野菜の苗植えなどを体験しました。作業には 4 歳児と 5 歳児合わせて約 60 人が参加。J A あいづ青年連盟猪苗代地区のメンバーたちに教わりながら、5 歳児がサツマイモとスイカの苗を植え、4 歳児がトウモロコシの種をまきました。さくら組(5 歳児)の鈴木秋花ちゃんは「とても楽しかった。自分たちが植えたスイカとサツマイモを食べるのが楽しみ」と笑顔で話しました。



農青連のメンバーに教わりながら、丁寧に苗を植える園児

全校生徒が磐梯登山 猪苗代高校

猪苗代高校の全校生徒は 6 月 3 日、磐梯登山を実施しました。磐梯登山は、1977(昭和 52)年から続く同校の伝統行事で、当日は生徒 154 人が参加。八方台登山口から登り、猪苗代スキー場へと下山しました。弘法清水から山頂までは希望する生徒が登り、135 人が山頂を目指しました。あいにくの雨模様で、雄大な景色を眼下に望むことはできなかったものの、登頂した生徒たちは達成感に満ちた笑顔で友人らと記念撮影していました。



山頂で記念撮影する生徒たち

アグリいなで田植え体験 千里小学校

千里小の 5 年生 32 人は 5 月 26 日、町農業活性化センター(アグリいな)で田植を体験しました。児童は、ぬかるみに足を取られて転んだり、足が抜けなくなって友達に助けってもらったりと、悪戦苦闘しながらも楽しそうに取り組みました。渡部光郁さんは「みんなで仲良くできてよかった。一番最初に転んで恥ずかしかったけど、泥だらけになって楽しかった」と満面の笑みを見せました。秋には、この田んぼで稲刈りを体験する予定です。



丁寧に苗を植える千里小の児童

笑顔でこんにちは



大好きなパパとママの間でごきげんな亮介くん

「多くの人と助け合いながら、明るくほがらかに人生を歩んでほしい」。亮介くんの名前には、パパとママのそんな願いが込められています。

後藤 亮介 くん

平成 26 年 2 月生まれ
～八千代
貴廣さん・裕子さん夫婦の長男

両親いわく「けっとう人見知り」という亮介くん。取材に何うなり泣き出したものの、すぐに慣れて、テーブルに身を乗り出し「あー」「わー」と話しかけてきたり、笑いながら背中をたたいてきたりと愛嬌(あいせう)たっぷりです。日中はママと一緒に過ごし、児童館で遊んだり、公園で走り回ったりと、元気がいっぱい。「家にいる時もずっと動きっぱなしで、全然じっとしてないんです」とママの裕子さんは笑います。

パパとは一緒に過ごす時間が少ない亮介くんですが、夜遅く帰ってきたパパに気付き、起きてお出迎えすることもあるのだとか。「笑顔をみると、仕事の疲れも癒されますね」とパパの貴廣さん。あふれる元気をおすそ分けして、みんなを笑顔にする亮介くんです。

※「笑顔でこんにちは」に掲載希望の人は広報担当まで申し出てください。

☎(62) 2111

花と共に思いやりの心育む

長瀬小と吾妻小で人権の花運動

花を育てることで命の大切さや思いやりの心を育み、人権尊重への理解を深める「人権の花」運動が 6 月から長瀬、吾妻の両小学校で始まりました。

この活動は、福島県方法務局若松支局、若松人権擁護委員協議会および市町村で構成する会津地域人権啓発活動ネットワーク協議会と町が協働で実施するものです。

花の苗は、人権擁護委員の協力を得ながら両校に届けられ、サルビアやマリーゴールドなど約 200 本の苗を児童が手分けしてプランターに植えました。



人権擁護委員の山田猛夫さん(左)と齋藤裕子さん(左から 2 人目)から花の苗を受け取る吾妻小緑の少年団の鈴木木ひかり団長(右)と小坂橋綾社副団長(右から 2 人目)



プランターに植えた花に水をやる吾妻小緑の少年団の団員たち



人権擁護委員の佐賀昭男さん(右から 3 人目)と佐藤秀一さん(同 4 人目)から花の苗を受け取る長瀬小の児童



プランターに花の苗を植える長瀬小の児童